





# はじめに お読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 Windows NT 3.51インストールモデルの場合は、先に『ご利用にあたって』をご覧ください。 Windows NT 4.0インストールモデルの場合は、まず本書の手順通りに操作してください。 なお本書に記載のイラストや画面はモデルにより多少異なります。また、実際の画 面とは多少異なることがあります。

操作の流れ	1	添付品の確認2 不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
	2	<b>設置</b>
	3	添付品の接続 使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページ をご覧ください。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』を お読みください。
		省スペース型の場合
	4	Windowsのセットアップ
	5	980FFICIAL PASSメンバーへの登録
	6	マニュアルの使用方法49 添付されているマニュアルの使い方について説明しています。
	7	使用する環境の設定と上手な使い方54 使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。



## 型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレク ション型番と呼びます)またはフリーセレクション型番(フレーム型番 とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型 番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、 必ず控えておくようにしてください。



フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなく した場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

スマートセレクション型番が記載されているステッカーの場合



「スマートセレクション型番を控える(P.3)へ進んでください。

フリーセレクション型番が記載されているステッカーの場合

6TF-00009-001-0001	
0001 PC-MA55JSZB5	ーフレーム型番
0002 PC-M- MEE252	
0003 PC-M-1H 0 0 8 2	
0004 PC-M- FDFDD2	トコンフィグオブション型番
9005 PC-M- CDCDD 2	
0006 PC-M- NELAN 2	

「フリーセレクション型番を控える(P.5)へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、「添付品を確認 する(P.9)へ進んでください。

● スマートセレクション型番を次の枠に控える

А	
Office2000 Personal インストール Microsoft WindowsNT40 インストール 本体・ディスプレイセットモデル(DV17C4) 1/2	
メモリ64MB実装済み [型番:PC-WA55JS7EW885] T8709	- スマートセレクション型番



の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

$\checkmark$	型番	クロック周波数	
	46	466 MHz	
	50	500 MHz	
	55	550 MHz	
	60	600 MHz	
	70	700 MHz	

CPUの種類を表しています。

✓ 型番		CPU <b>の種類</b>
Н		Intel <sup>®</sup> Celeron™ <b>プロセッサ</b>
J		Pentium <sup>®</sup> III <b>プロセッサ</b>

本体の型を表しています。

$\checkmark$	型番	本体の型
	C、L <b>または</b> Z	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

$\checkmark$	型番	ディスプレイの種類		
	5	15 <b>型</b> CRT <b>ディスプレイ(</b> DV15A3 <b>)</b>		
	9	19 <b>型フルフラット</b> CRT <b>ディスプレイ(</b> FE90 <b>)</b>		
	D	17 <b>型フルフラット</b> CRT <b>ディスプレイ(</b> DV17D2 <b>)</b>		
	E	18 <b>型広視野角</b> TFT <b>液晶ディスプレイ(</b> F18S1W )		
	G	15型広視野角TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15S32)		
	Ν	15.4 <b>型高精細</b> TFT <b>液晶ディスプレイ(</b> F15R42W <b>)</b>		
	R	15型TFT <b>デジタル液晶ディスプレイ(</b> F15T42 <b>)</b>		
	Y	14.1型TFT <b>デジタル液晶ディスプレイ(</b> F14T52 <b>)</b>		
	Z	なし		

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

$\checkmark$	型番	選択アプリケーションの種類	
	В	なし	
	E	Office 2000 Personal	
	L	Office 2000 Professional	
	М	ー太郎 10・花子10パック & 1-2-3 2000	

フロッピーディスクドライブ/スーパーディスクドライブおよびCD-ROMドライブ/CD-RWドライブのあるなし、キーボードの種類を表し ています。

~	型番	フロッピーディスクドライブ/ スーパーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b> / CD-RW <b>ドライブ</b>	キーボードの種類
	4	なし	なし	PS/2 109 <b>キーボード</b>
	5	なし	なし	USB <b>小型キーボード</b>
	6	フロッピーディスクドライブ	CD-RW <b>ドライブ</b>	PS/2 109 <b>キーボード</b>
	7	フロッピーディスクドライブ	CD-RW <b>ドライブ</b>	USB <b>小型キーボード</b>
	8	フロッピーディスクドライブ	CD-RW <b>ドライブ</b>	USB98 <b>配列キーボード</b>
	9	なし	なし	USB98 <b>配列キーボード</b>
	В	フロッピーディスクドライブ	CD-RW <b>ドライブ</b>	USB 109 <b>キーボード</b>
	D	スーパーディスクドライブ	CD-RW <b>ドライブ</b>	USB 109 <b>キーボード</b>
	Е	スーパーディスクドライブ	CD-RW <b>ドライブ</b>	USB <b>小型キーボード</b>
	F	スーパーディスクドライブ	CD-RW <b>ドライブ</b>	PS/2 109 <b>キーボード</b>
	G	スーパーディスクドライブ	CD-RW <b>ドライブ</b>	USB98 <b>配列キーボード</b>
	Н	フロッピーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b>	USB <b>小型キーボード</b>
	L	スーパーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b>	USB 109 <b>キーボード</b>
	М	フロッピーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b>	USB 109 <b>キーボード</b>
	S	スーパーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b>	USB98 <b>配列キーボード</b>
	Т	フロッピーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b>	PS/2 109 <b>キーボード</b>
	U	スーパーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b>	PS/2 109 <b>キーボード</b>
	V	フロッピーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b>	USB98 <b>配列キーボード</b>
	W	スーパーディスクドライブ	CD-ROM <b>ドライブ</b>	USB <b>小型キーボード</b>
	Z	なし	なし	USB 109 <b>キーボード</b>

4

メモリの容量を表しています。

$\checkmark$	型番	メモリ容量	
	3	192MB	
	В	64MB	
	С	96MB	
	D	128MB	
	E	256MB	

ハードディスクドライブの容量とマニュアルの種類を表しています。

$\checkmark$	型番	ハードディスクドライブ容量	マニュアルの種類	
	6	6.4 GB		
	8	8.4 GB		
	С	13.0 GB	印刷マニユアル	
	F	20.0 GB		
	Т	20.0 GB		
	U	13.0 GB		
	W	8.4 GB	電子化マニュアル	
	Y	6.4 GB		

上記の ~ のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次に「添付品を確認する(P.9)に進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、 「添付品を確認する(P.9)へ進んでください。

● フレーム型番を次のチェック表にチェックする

6TF-000	009-001-0001	6R7-9999	999	
0001 PC-MA55.	JSZB5			ーフレーム型番
0002 PC-M- MEE252		0007 PC-M- KBUSB2		
0003 PC-M-1H0082		0008 PC-M- APMSW2		
0004 PC-M- FDFDD2		0010 PC-M-2H0082		
0005 PC-M- CDCDD2				
0006 PC-M- NELAN 2				
( 		]		

PC-MA ZB5

### フレーム型番に記載されている の意味は次の通りです。

### CPUのクロック周波数を表しています。

$\checkmark$	型番	クロック周波数
	46	466 MHz
	50	500 MHz
	55	550 MHz
	60	600 MHz
	70	700 MHz

CPUの種類を表しています。

$\checkmark$	型番	CPU <b>の種類</b>
	Н	Intel <sup>®</sup> Celeron™ <b>プロセッサ</b>
	J	Pentium <sup>®</sup> III <b>プロセッサ</b>

本体の型を表しています。

$\checkmark$	型番	本体の型
	C、L <b>または</b> Z	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

2 コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

6TF-00009-001-0001	6R7-999999	
0001 PC-MA55JSZB5		
0002 PC-M-1H0082	008 PC-M- APMSW2	
0004 PC-M-FDFD D2	D10 PC-M-2H0082	ーコンフィグオブション型番
0006 PC-M- NELAN 2		

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、 ~ は どのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選択必須 COP)、 ~ は選択したモデルやオプションによってステッカーに記載 されます(選択必須COPおよび任意選択COP)。また、ステッカーに記載さ れているCOP型番は順不同になっています。

COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

PC-M-KB 1はキーボードの種類を表しています。(選択必須 COP)

$\checkmark$	型番	キーボードの種類
	98U	USB 98 <b>配列キーボード</b>
	PS2	PS/2 109 <b>キーボード</b>
	SMU	USB <b>小型キーボード</b>
	USB	USB 109 <b>キーボード</b>

PC-M-1H 2は内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディスク ドライブ、プライマリマスタ)の容量を表しています。(選択必須COP)

$\checkmark$	型番	ハードディスクドライブ容量
	006	6.4GB
	008	8.4GB
	013	13.0GB
	020	20.0GB

PC-M-ME 2はメモリの種類と容量を表しています。(選択必須 COP)

$\checkmark$	型番	メモリの種類と容量
	E06	ECC <b>あり</b> 64MB (100MHz)
	E09	ECC <b>あり</b> 96MB (100MHz)
	E12	ECC <b>あり</b> 128MB (100MHz)
	E19	ЕСС <b>あり</b> 192МВ (100MHz)
	E25	ECC <b>あり</b> 256MB (100MHz)
	N06	ECC <b>なし</b> 64MB (100MHz)
	N09	ЕСС <b>なし</b> 96МВ (100МНz)
	N12	ECC <b>なし</b> 128MB (100MHz)
	N19	ECC <b>なし</b> 192MB (100MHz)
	N25	ECC <b>なし</b> 256MB (100MHz)

PC-M-CD 2は5インチベイに搭載されるファイルベイ用内蔵機 器(セカンダリマスタ)の種類を表しています。(MA46H/Zはなし、その 他の機種は選択必須COP)

$\checkmark$	型番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	CDD	CD-ROM <b>ドライブ</b>
	CDR	CD-RW <b>ドライブ</b>

PC-M-FD 1は3.5インチベイに搭載されるファイルベイ用内蔵 機器の種類を表しています。(MA46H/Z以外の省スペース型は選択必 須COP、その他はなし)

$\checkmark$	型番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	FDD	フロッピーディスクドライブ
	SDD	スーパーディスクドライブ

PC-M-NE 2はネットワークボードの種類を表しています。 (MA70J/S、MA55J/S、MA50J/SでLANボードの場合はなし、その他は選 択必須COP)

$\checkmark$	型番	ネットワークボードの種類
	LAH	I ∧ NI# – K
	LAN	
	MDM	FAX <b>モデムボード</b>

PC-M-GR 4はグラフィックアクセラレータボードを表していま す。(MA70J/S、MA55J/S、MA50J/S、MA60J/M、MA50J/Mは選択必須 COP。その他の機種はなし)

$\checkmark$	型番	グラフィックアクセラレータボード
	S4P	Savage4 <sup>™</sup> PRO

DV 、F (任意選択COP)

-		
$\checkmark$	型番	ディスプレイの種類
	DV15A3	15 <b>型</b> CRT <b>ディスプレイ(</b> DV15A3 <b>)</b>
	DV17D2	17 <b>型フルフラット</b> CRT <b>ディスプレイ(</b> DV17D2 <b>)</b>
	F14T52	14.1型TFT <b>デジタル液晶ディスプレイ(</b> F14T52)
	F15R42W	15.4 <b>型高精細</b> TFT <b>液晶ディスプレイ(</b> F15R42W <b>)</b>
	F15S32	15型広視野角TFTデジタル液晶ディスプレイ(F15S32)
	F15T42	15型TFT <b>デジタル液晶ディスプレイ(</b> F15T42 )
	F18S1W-M	18型広視野角TFT液晶ディスプレイ(F18S1W-M)注意
	FE90-M	19型フルフラットCRTディスプレイ(FE90-M)注意

注意 ディスプレイの箱、ディスプレイの保証書、ディスプレイの銘板、ディス プレイ添付のマニュアルにはF18S1W、FE90と書かれていますが、 F18S1WはF18S1W-Mと、FE90はFE90-Mと同じ商品です。

PC-M-AP **は選択アプリケーションの種類を表しています。** (任意選択COP)

$\checkmark$	型番	選択アプリケーションの種類
	JST2	ー太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000
	MSW2	Office 2000 Personal
	MSW3	Office 2000 Professional

PC-M-ES

1はESMPROを表しています。(任意選択COP)

$\checkmark$	型番	ESMPRO
	ESM	ESMPRO

PC-M-SC 2はSCSIボードを表しています。(任意選択COP)

$\checkmark$	型番	SCSI <b>ボード</b>
	UWS	Ultra SCSI <b>インタフェースボード(</b> Wide <b>対応 )</b>

PC-M-2H 2は内蔵3.5インチベイに搭載される追加ハードディ スクドライズ(プライマリスレーブ)の容量を表しています。(任意選択 COP)

$\checkmark$	型番	追加ハードディスクドライブ容量
	008	8.4GB <b>(</b> 2ndHDD <b>)</b>
	013	13.0GB <b>(</b> 2ndHDD <b>)</b>
	020	20.0GB <b>(</b> 2ndHDD <b>)</b>

PC-M-ST 1は5インチベイに搭載される拡張ファイルベイ用内 蔵機器(セカンダリスレーブ)の種類を表しています。(省スペース型は なし、その他の型は任意選択COP)

$\checkmark$	型番	拡張ファイルベイ用内蔵機器の種類
	SDD	スーパーディスクドライブ
	ZIP	ZIP <b>ドライブ</b>

8

PC-M-MN 1は、本機に添付するマニュアルを表しています。(省 スペース型は任意選択COP、その他の型はなし)

$\checkmark$	型番	マニュアル
	STD	印刷マニュアル

### 添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリス トを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損して いた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。 下記の他にも注意書きの紙などが入っている場合があります。

●箱の中身を確認する

P.3 ①またはP.5 ①、P.6 ②の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

保証書(本体梱包箱に貼り付けられています) 保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、 保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書 の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理 については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によっ て機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理い たします。詳しくは、保証書をご覧ください。 はじめにお読みください(このマニュアルです) 本体(ディスプレイやキーボードなど 添付品収納箱 キーボード の周辺機器を含まないMate NXを指します) マウス 1つにパックされています。 選択アプリケーション Office 2000 Personal<sup>11</sup>、Office 2000 Professional<sup>12</sup>、一太郎 10·花子10パック<sup>3</sup> & 1-2-3 2000、およびESMPRO<sup>4</sup> 箱の中身は、選択アプリケーションの箱の中にあるマニュアルをご覧 ください。 マニュアル (P.4 ● 、またはP.8 Ø 、 で選択アプリケーションの 種類がわかります)

\*1 Microsoft<sub>®</sub> Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook<sub>®</sub> 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf<sub>®</sub> Basic )

<sup>2</sup> Microsoft<sub>®</sub> Office 2000 Professional (Microsoft<sub>®</sub> Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook<sub>®</sub> 2000, Microsoft PowerPoint<sub>®</sub> 2000, Microsoft Access 2000, Microsoft Publisher 2000, Microsoft<sub>®</sub> / Shogakukan Bookshelf<sub>®</sub> Basic )

- <sup>3</sup> 一太郎10·花子10パック(一太郎10、花子10、三四郎9、ATOK13)
- <sup>14</sup> ESMPRO/ClientManager Ver 2.1/Ver 3.0/Ver 3.1、DeliveryManager Ver 4.0/Ver 4.1/Ver 5.0 /Ver 5.2/Ver 6.0(ライセンスFD)

\_\_\_\_は、各々1つにパックされています。





マニュアル



ソフトウェアのご使用条件 / ソフトウェア使用条件適用一覧 (箱の中身を確認後必ずお読みください) マイクロソフト ウィンドウズ NT サービス パック 5 CD-ROM システムインストールディスク(FD) パックアップCD-ROM(OSを除く)用インストールディスク (FD) パックアップCD-ROM(OSを除く)

ー P.4 **①**- が6、7、8、B、D、E、F、Gの場合、またはP.7 ②- がPC-M-CDCDR2の場合添付ー

Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM



- P.8 29- がPC-M-SCUWS2の場合添付

Adaptec AHA290x/291x/294x/349x/4944/AIC-78xx PCI SCSI Controller( Windows NT® 4.0 )ドライバディスク

 ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの 箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確 認する

(P.4 ①・またはP.8 ②・ でディスプレイのあるなし、種類がわかります)

④本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MA XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。 次のページの 2 設置へ進んでください。



# 設置場所を決める

🥂 安全に関するご注意

添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、 注意事項を守って正しくお使いください。



電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。



電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてく ださい。

安全にお使いいただくために

6 107

電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。

ケーブル類は、つまずかないように整理してください。

設置に適した場所は次のような場所です。

### 屋内

- **温度**10 ~35
- **湿度**20**%~**80**%**
- (ただし結露しないこと)
- 平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
- (机の上など)

### 🗙 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機本体とキーボードなどを含んだMate NXを指します。の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているもの の近く

直射日光があたる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら.....

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機器ですから、慎 重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因と なります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。

いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続 できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでくだ さい。

できるだけ通風孔をふさがないように15cm以上のスペースを確保して ください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必 要です。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を 取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面 を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損 の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

Zipドライブ使用上の注意

Zip ドライブを搭載したデスクトップ型は、オプション製品 本体縦置き 台(PC-MA-K09)を使用できません。

以上で設置は完了です。

次のページの 3 添付品の接続 へ進んでください。

3

添付品の接続

デスクトップ型の場合はP.24をご覧ください。 ミニタワー型の場合はP.33をご覧ください。

### 省スペース型の場合

スタビライザをセットする

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタ ビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態で は、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場 合は、転倒防止のため、必ず次のようにスタビライザをスタビライザ取り 付け用ネジで取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、本体の上に約 17kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

● 机の端などに本体を横置きに安定させる

2 2つのスタビライザを次のようにかみ合わせる



●本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け用 ネジ2個を使い取り付ける

本体を横にするときは、机やテーブルなどを傷つけたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをお勧めします。



次のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、1つのスタ ビライザを本体の、壁などと反対側の側面のみにセットすることができ ます。



1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、 必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

●机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

②本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する



●1つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り 付ける

本体の右側にセットする場合





### 添付品を接続する

- 1. マウス、キーボードを接続する
  - お使いのキーボードにより、●または②のどちらかで接続してください。
  - USB接続のキーボード(P.40- が5、7、8、9、B、D、E、G、H、L、M、S、V、W、Zの場合、またはP.60- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の場合)を接続する場合

### 添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレ イのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側 にある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまい ません。



②PS/2 109キーボード(P.4●- が4、6、F、T、Uの場合、または
 P.6 ②- がPC-M-KBPS21の場合)を接続する場合

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ 接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、❶または❷のどちらかで接続してく ださい。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

 ●CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4 ●-が5、9、D、E、Nの場合、またはP.8 ●- がDV15A3、DV17D2、 F15R42W、F18S1W-M、FE90-Mの場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液 晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



②デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ●- がG、R、Yの場合、または
 P.8 ●- がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このときビデオ信号ケーブルのコネクタを本体のデジタルRGB コネクタに確実に、ロックされるまで手で押し込んでください。 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用し ても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレ イのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続して ください。



3. リンクケーブル 別売 またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、のの手順で接続します。

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で 受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。
   電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド ハードウェア編』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(<sup>-</sup> る)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを本体のアイコン表示(、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

/♪ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。

アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

本体に添付する、サービスコンセント付電源ケーブルをご使用になる前 に、下記の注意事項をよく読んでから接続してください。



サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は 接続しないでください。消費電力の大きな機器などに接続しま すと、火災の原因となります。



サービスコンセントで供給できる電源の容量は3Aまでです。

次のページのイラストを見て●~ ❸の順番に接続してください。

### ●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイの場合です。 ディスプレイの電源ケーブルの接続については、ディスプレイ のマニュアルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグをサービスコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを 壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 P.42<sup>T</sup> Windowsのセットアップ」へ進んでください。 省スペース型の場合はP.14をご覧ください。 ミニタワー型の場合はP.33をご覧ください。

# デスクトップ型の場合

添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、●または❷のどちらかで接続してください。

●USB接続のキーボード(P.4●- が7、8、B、H、M、Vの場合、または
 P.6 ●- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の
 場合)を接続する場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接 続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側にある2つのコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。





② PS/2 109キーボード(P.4●- が6、Tの場合、またはP.6 @- がPC-M-KBPS21の場合)を接続する場合

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、①または②のどちらかで接続してください。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

 ●CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4 ●-が5、9、D、E、Nの場合、またはP.8 ●- がDV15A3、DV17D2、 F15R42W、F18S1W-M、FE90-Mの場合)を接続する場合

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なります。 機種とアナログRGBコネクタの位置を確認してから接続してくだ さい。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液 晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



MA46H/Sの場合



②デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ● - がG、R、Yの場合、または
 P.8 ● - がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに確実にロックされるまで押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



MA46H/Sの場合



3. リンクケーブル(別売) またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、2の手順で接続します。

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』 PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧になり、接続前の確認 を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合 を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する





❷モジュラーケーブルを接続する場合

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示( ⑥)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示(、、)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。





4. アース線、電源ケーブルを接続する

/ 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。 次のページのイラストを見て、●~❸の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

**∂**ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイの場合です。ディスプ レイの電源ケーブルの接続については、ディスプレイのマニュ アルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 P.42<sup>T</sup> Windowsのセットアップ」へ進んでください。

省スペース型の場合はP.14をご覧ください。 デスクトップ型の場合はP.24をご覧ください。

# ミニタワー型の場合

スタビライザをセットする

本体には、安定して設置するためのスタビライザという脚があります。ス タビライザは梱包箱から出したままの状態では、本体底面にたたみ込ま れています。転倒防止のため、このスタビライザを出して設置してください。



本体はスタビライザを使用して、縦置きで使用してください。 横置きで使用すると、故障の原因となります。



1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、●または❷のどちらかで接続してください。

●USB接続のキーボード(P.4●- が7、8、B、H、M、Vの場合、または
 P.6 ●- がPC-M-KB98U1、PC-M-KBSMU1、PC-M-KBUSB1の
 場合)を接続する場合

添付のマウスをキーボードに接続する



キーボードを本体または液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する

液晶ディスプレイがセットになったモデルで、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続する場合は、液晶ディスプレイの左側にある2つのUSBコネクタのうち、どちらを使用してもかまいません。



または



 ② PS/2 109キーボード(P.4 ●- が6、F、T、Uの場合、またはP.6 ②-がPC-M-KBPS21の場合)を接続する場合
 添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を同色のコネクタに接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、❶または❷のどちらかで接続してく ださい。

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

●CRTディスプレイもしくはアナログ液晶ディスプレイ(P.4●- が 5、9、D、E、Nの場合、またはP.8 ●- がDV15A3、DV17D2、 F15R42W、F18S1W-M、FE90-Mの場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のアナログRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶 ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレイのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続してください。



②デジタル液晶ディスプレイ(P.4 ●- がG、R、Yの場合、または
 P.8 ●- がF14T52、F15S32、F15T42の場合)を接続する場合

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、本体のデジタルRGBコネクタに、アイコン(〇)とコネ クタの形状を確認して接続する

このときビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで手で押し込んでくだ さい。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用し ても構いません。また、USB接続のキーボードは、液晶ディスプレ イのUSBコネクタに接続するなど、利用環境にあわせて接続して ください。



3. リンクケーブル(別売) またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、●の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、のの手順で接続します。

(電話回線に接続する場合は、『活用ガイド ハードウェア編』 PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧になり、接続前の確認 を行ってください。ここでは、モジュラーコンセントに接続する場合 を例に説明します。)

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管 理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示( 🖧 )に従っ て接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

🥂 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。

アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 <sub>東火注意</sub> 火災の原因となります。

アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの <sup>注意</sup> プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。 アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

次のページのイラストを見て●~❸の順番に接続してください。

●アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイの場合です。ディスプ レイの電源ケーブルの接続については、ディスプレイのマニュ アルをご覧ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

●本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 次のページの「4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

# 4

# Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、自分の名前などを入力するWindows NT 4.0のセットアップの作業が必要です。この作業には全部で30分 程度の時間がかかります。

## セットアップをするときの注意

- ・プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶 対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した 場合は、先に「
   ④ Windowsのセットアップ」から「
   7 使用する環境の設 定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを 読んで接続や取り付けを行ってください。
- 途中で電源を切らない 作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源 スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原 因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セッ トアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありま せんので、慌てずに手順通り操作してください。

### セットアップを始める前の準備

次のものを準備しておいてください。

- ・『Microsoft<sub>◎</sub> Windows NT<sub>◎</sub> Workstation ファーストステップガイド』 セットアップの途中で、表紙に記載されているWindows NT 4.0の製造番号(プロダクト ID )が必要にな ります。
- ・使用する人の名前 本機を使う人の名前を入力する必要があります。 登録する名前を決めておいてください。



Windows NT 4.0 の製造番号 (プロダクト ID)

# 電源を入れる

●、②の順番に電源を入れてください。

● ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュ アルを参照してください。

CRTディスプレイの場合

アナログ液晶ディスプレイ の場合



● ディスプレイの電源スイッチ

②本体の電源を入れる

省スペース型の場合

デスクトップ型の場合



ミニタワー型の場合



これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に 手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故 障の原因になります。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、後述の「セットアップ中のトラブル対策(P.47)をご覧ください。

●電源ランプが点灯して、しばらくすると「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示される

をクリックして続きを見る

読んだら「同意します」ボタンをクリック

「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップはできません。

「Windows NTセットアップ」の画面が表示された場合は、「次へ」ボ タンをクリックしてください。

❷「名前と組織名」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力 する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。 変更するには、再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせて クリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同 じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

●「登録」の画面が表示されたらプロダクト IDを入力する プロダクト IDを入力

次の間違えやすい文字にご注意ください。

- ・1(イチ)とI(アイ) ・ 8(ハチ)とB(ビー)
- ・ (( ゼロ )と(( オー ) ・ (( キュー )と(( オー ) 「次へ」ボタンをクリック
- ④「コンピュータ名」の画面でコンピュータ名を入力する コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

本機をLANに接続して利用する場合は、コンピュータ名をネットワーク管理者 にご相談ください。

「次へ」ボタンをクリック

●「管理者アカウント」の画面でパスワードを入力する

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。

パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶 対忘れないようにしてください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入 力

「次へ」ボタンをクリック

「Windows NTセットアップ」の画面が表示された場合は、「次へ」ボ タンをクリックしてください。

途中で何度か画面が変わり、次の画面が出るまで数分から10数分かか ります。なにも操作せずにお待ちください。

④ 再起動の画面が表示されたら、「コンピュータの再起動」ボタン をクリック

いったん画面が真っ暗になり、自動的に再起動します。

●「ログオンの開始」の画面が表示されたら、キーボードの【Ctrl】 と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押す ③ 手順 Gで設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、②の画面が出るまでしばらくかかります。何も操作せずにお待ちください。

②次の画面が表示されたら、各項目の説明を読んだ後、■をク リック



これでWindows NT 4.0のセットアップの作業は終了です。 次に「電源を切る」へ進んでください。

## 電源を切る

- ●「スタート」ボタンをクリック
- ❷「シャットダウン」をクリック
- ❸ シャットダウンを実行する
  - 「シャットダウンする」をクリック
  - 「OK」ボタンをクリック
  - 自動的に電源が切れます。
- ❹ ディスプレイの電源を切る

以上でWindowsのセットアップは完了です。 P.48の「5980FFICIAL PASSメンバーへの登録」へ進んでください。

# セットアップ中のトラブル対策

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

・ 電源を入れて、表示される画面をチェックする
 CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セット
 アップを続行することができます。

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。 「Non-System disk」などのエラーメッセージが表示された場合は、シス テムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があり ます。この場合、Windows NT 4.0は起動しません。

Windows NT 4.0を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。

再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご 覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、 メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制 的に終了してください。

電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「・電源を入れて、表示 される画面をチェックする」をご覧ください。 5 980FFICIAL PASSメンバーへの 登録

> **添付の** 980FFICIAL PASS**お客様登録申込書」をご覧になり、早めに**980F-FICIAL PASS**メンバーへの登録を行ってください。**

登録には、3種類の方法があります。

- ・インターネットのホームページからの登録
   「980FFICIAL PASSお客様登録カウンター」
   http://www.pc98.nec.co.jp/register/
- ・FAX用紙による登録(添付の 980FFICIAL PASSお客様登録申込書」)
- ・専用はがきによる登録(添付の「98OFFICIAL PASSお客様登録申込書」)

e-mailアドレスを登録いただきましたお客様には、最新のドライバ情報を はじめとするさまざまな情報をお届けします(98MEMBER's LETTER )。

以上で980FFICIAL PASSメンバーへの登録は完了です。 次のページの「」マニュアルの使用方法へ進んでください。



マニュアルの使用方法

本機に添付されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読み ください。ただし、省スペース型をご購入の方は、「印刷マニュアル」が選 択できます。添付形態がそれぞれ異なりますので、よく読んでからお使い ください。

また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類を なくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』『PART3 トラブル解決 Q&A」の「その他」、「アフターケアについて」をご覧ください。

### マニュアルを使用する前に

MA46H/Sをご購入の方へ...

**『本機をお使いの方へ』** MA46H/Sに関するシステム設定(BIOS設定)につい て記載しています。



### マニュアルの使用方法

印のマニュアルは、省スペース型で「印刷マニュアル(P.9.0· がPC-M-MNSTD1)を選択した場合、およびデスクトップ型、ミニタワー型の場 合のみ添付されています。省スペース型の場合は、「電子化マニュアル」が 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」に入っています。「電子化マニュア ルの使用方法については、P.51「電子化マニュアルの使用方法」をご覧く ださい。

『安全にお使いいただくために』 本機を安全にお使いいただくための情報を記載して います。使用する前に必ずお読みください。

<sup>■</sup>Microsoft<sub>®</sub> Windows<sub>®</sub> NTファーストステップガイド』 Windows NT 4.0の全般的な基礎知識や基本的な操作 方法を確認したいときにお読みください。





『活用ガイド 再セットアップ編』 本機のシステムを再セットアップするときにお読み ください。

『活用ガイド ハードウェア編』 本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定) について確認したいときにお読みください。

『活用ガイド ソフトウェア編』 アプリケーションの概要と削除/追加、他のOSをセッ トアップするときや、トラブルが起きたときにお読み ください。

『ハードウェア拡張ガイド』 本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機 器の取り付けを行うときにお読みください。

『ATコマンド』電子化マニュアル) FAXモデムボードを搭載したモデルの場合、ATコマンドについて知り たいときにお読みください。

ディスプレイのユーザーズマニュアル 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの 場合は、ディスプレイに添付されています(P.2 1 添付品の確認」をご 覧ください)。ご利用の前に、必ずお読みください。

選択アプリケーションのユーザーズマニュアル モデルによって、Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、一太郎 10・花子10パック&1-2-3 2000などのマニュアルが添付されています(P.2 「 1 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

『メンテナンス&サポートのご案内』 ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンス とサポート情報について知りたいときにお読みくだ さい。

『NEC PCあんしんサポートガイド』 パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障 時のサービス網について知りたいときにお読みくだ さい。







Microsoft**関連製品の情報について** —

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発 者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用する ための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

### 電子化マニュアルの使用方法

電子化マニュアル(PDFファイル)を使用する場合は、はじめにAcrobat Reader3.0Jを追加する必要があります。次の手順で追加してください。

1 .Acrobat Reader 3.0 Jの追加

NetPCモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上で任意のコンピュ ータのフロッピーディスクドライブ/CD-ROMドライブをネットワークドライブに 割り当ててください。 なお、フロッピーディスクドライプはAドライブとして割り当ててください。

- Windows NTを起動する
- CD-ROMドライブまたはCD-RWドライブに本機に添付の 「バックアップCD-ROM(OSを除く)」をセットする
- ③フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライ ブに、添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)用インス トールディスク」をセットする
- ④「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック
- ⑤「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリック
- ⑥「インストールと削除」タブの「インストール」ボタンをクリック
- ⑦「次へ」ボタンをクリック
- 「A:¥Nxsetup.exe」が表示されていることを確認したら、「完了」ボタンをクリック

- f Adobe Acrobat Reader 3.0 Jインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- ●「ようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- ⑦「使用許諾契約書」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- ⑧「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタン をクリック

インストールが始まります。

④「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「終了」ボタンを
クリック

メモ帳が起動し、READMEファイルが表示されます。 読み終えたら終了させてください。

- じてセットアップが終了しました。」が表示されたら、「OK」ボタン をクリック
- ID フロッピーディスクとCD-ROMをドライブから取り出す

これで追加は完了です。

2. 電子化マニュアルを見る方法

次の手順でAcrobat Reader 3.0Jを起動して、ご覧ください。

●「スタート」ボタン 「プログラム」「Adobe Acrobat」 「Acrobat Reader 3.0」をクリック

❷「ファイル」「開く」をクリック

電子化マニュアルば バックアップCD-ROM(OSを除く)」に次のファ イル名で添付されています。

- 『活用ガイド ハードウェア編』
   ¥MANUAL¥NX活用HW編NT.PDF

   『活用ガイド ソフトウェア編』
   ¥MANUAL¥**活用**SW編NT.PDF

   『ハードウェア拡張ガイド』
   ¥MANUAL¥NXHW拡張.PDF

   『ATコマンド』
   ¥MANUAL¥NXATコマンド.PDF
- ❸ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリック

電子化マニュアルが表示されます。

メモ

- 「エクスプローラ」等で上記2のファイルをダブルクリックしても開く ことができます。
- ・必要に応じてハードディスクにファイルをコピーしてご利用ください。
- 次のWebサイト(PICROBO)ではNEC製の電子マニュアルをダウン ロードできるサービスを行っております。また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

http://download.pc98.nec.co.jp/m/NX/index.htm

- PDFファイルのサイズが大きく、Acrobat Reader 3.0Jをインストールされている場合、Internet Explorer 4.0x及び5.0では開けない場合があります。その場合は、Acrobat Reader 4.0をダウンロードしてお使いください。
- 3. 電子化マニュアルを印刷するときの補足事項

電子化マニュアルを印刷する場合は、ポストスクリプト対応の600dpi以 上のページプリンタを推奨します。

黒地に白の文字(例:このような文字)がうまく印刷されない場合は、次のいずれかの方法を行ってください。

- プリンタドライバを最新のものにする
- ・ プリンタが複数ある場合は、プリンタを切り替える
   それでもうまく印刷されない場合は、切り替えたプリンタのドライバ
   を最新のものにしてください。
- Adobe Acrobat Reader 4.0をインストールする
   次のWebサイトからダウンロードしてください。

http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html

# 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能 の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編』および『活 用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。また、MA46H/Sの場合は、 『本機をお使いの方へ』とともにお読みください。

1. 補足説明(Readmeファイル)を読む

本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアル では掲載していない機能について説明したファイルがあります。「ス タート」ボタン 「プログラム」「補足説明」をクリックしてお読みく ださい。

2. システムスイッチの設定 電源スイッチの設定)

システムスイッチの工場出荷時の設定は、「パワーボタン」になって おり、電源スイッチを押すと、電源を入れる/切る機能になっていま す。「スリープボタン」に設定し、電源スイッチを押すと、サスペン ド/レジューム機能になります。(BIOSセットアップメニューの工 場出荷時の設定は、英語で表示されるようになっています。)この設 定内容の詳細については、『活用ガイド ハードウェア編』『PART2 システム設定』「省電力の設定」をご覧ください。

MA46H/S**の場合は、『本機をお使いの方へ』** Power Management Setupの設定」をご覧ください。

3. セキュリティの設定

設定内容の詳細などについては、『活用ガイド ハードウェア編』 「PART1 本体の構成各部」の「Mate NXセキュリティ/マネジメント 機能」をご覧ください。

BIOS LOCK

・パスワードを設定する

スーパパイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、 本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止する ことができます。 ・指紋認証を利用する

別売の指紋認証(PK-FP002)を利用することで、本体起動時に BIOSレベルで指紋によるユーザー認証を行い、不正起動やBIOS の設定変更を確実に防止します。MA46H/Sは、指紋認証を利用し たBIOS LOCKができません。

・スマートカードを利用する

**別売のスマートカードリーダ/ ライタ(**PK-SM001)とスマート カード(PK-SM003)を利用することで、個人認証をすることがで きます。MA46H/Sは、スマートカードを利用したBIOS LOCKが できません。

2 1/0 □ > 2

フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどを利用できな いようにします。コンピュータウイルスの侵入を防いだり、パソコ ンのデータを無断コピーされたり、パソコンに悪影響を与えるおそ れのあるアプリケーションなどのインストールを未然に防止する ことができます。

€ 筐体ロック

内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難や、スーパパイ ザパスワード、ユーザパスワードの解除を防止するため、錠をかけ ることができます。

4. データのバックアップの設定

Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えな くなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを 作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアッ プをとるようおすすめします。

本機にはハードディスクドライブをバックアップするアプリケー ション(Masty Data Backup)が「バックアップCD-ROM(OSを除く)」 に添付されています。(MA46H/Lには添付されていません。) 詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各 部」の「ハードディスクドライブ」、『活用ガイド ソフトウェア編』 「PART1 アプリケーションの概要と削除/追加」の「Masty Data Backup」をご覧ください。 BIOSセットアップメニュー

「システムのバックアップ警告」を設定すると、本機起動時にバック アップを行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことがで きます。(MA46H/Sは、この機能を利用できません。) 詳しくば「活用ガイド ハードウェア編」「PART2 システム設定」の 「セキュリティの設定」をご覧ください。

5. ハードディスクドライブの領域確保

工場出荷時に搭載されているハードディスクドライブには、ハード ディスクドライブ(プライマリマスタ)とモデルによっては追加ハー ドディスクドライブ(プライマリスレーブ)の2つがあります。工場出 荷時にはハードディスクドライブ(プライマリマスタ)の第1パーティ ション(ドライブ番号:Cドライブ)として2GBの領域が確保されてい ます。残りの領域は確保されていません。『活用ガイド ハードウェア 編』PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」をご覧に なり、残りの領域を使用環境に合わせて確保してください。

6. ネットワークの設定

本機では工場出荷時のネットワークプロトコルば NetBEUI」が設定 されています。LANの設定を変更する場合は『活用ガイド ハード ウェア編』PART1 本体の構成各部」の LAN(ローカルエリアネット ワーク) ボード」をご覧ください。

7. 利用する添付アプリケーションの設定

VirusScan for Windows NT, Easy CD Creator Lite, DirectCDなど

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(VirusScan for Windows NT)が バックアップCD-ROM(OSを除く)」に添付されて います。またCD-RWドライブが搭載されているモデルでは、CD-Rお よびCD-RWヘデータを書き込むアプリケーション(Easy CD Creator Lite、DirectCD)が「Easy CD Creator Lite / DirectCD CD-ROM」に 添付されています。

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。

詳しくば『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

#### 8. 運用・管理するための添付アプリケーションの設定

Intel<sup>®</sup> LANDesk<sup>®</sup> Client Manager 6.0( with NEC Extensions ), pcAnywhere 9.0 EX, CyberAccess

本機には接続されているパソコンの情報を管理する機能(Intel® LANDesk® Client Manager 6.0( with NEC Extensions )) 遠隔地から パソコンを操作する機能(pcAnywhere 9.0 EX) システム管理者向 けと一般ユーザー向けの利用環境を設定する機能(CyberAccess)を 提供するアプリケーションが「バックアップCD-ROM(OSを除く)」 に添付されています。(MA46H/Lは、Intel LANDesk® Client Manager 6.0( with NEC Extensions)とpcAnywhere 9.0 EXは添付されていま せん。)

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

- 9. 上手な使い方
  - ●トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』 PART3 トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

②本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスな ど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハード ウェア編』「PART4 付録」の「本機のお手入れ」をご覧ください。

57

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことが ありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱 丁本はお取り替えいたします。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任 も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知くたさい。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows NT 4.0および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディ スクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、および Windows NTロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 「一太郎」花子」ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10・花子10パック」にかかる 著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標 三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

VirusScanは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

pcANYWHERE32およびpcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。 PS/2は、IBM社が所有している商標です。

Intel、Pentium、CeleronおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国および他の国々における登録商標および商 標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6.0( with NEC Extensions )は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。

Savage4は、S3社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

三版 2000年1月 ©NEC Corporation 1999, 2000 日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。 808-877675-127-A3



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙(古紙率100%)を使用しています。